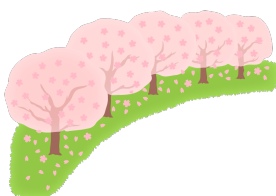




発行：令和3年4月1日
第1号



新体制の紹介



さわおとの森
新築・移転計画



各部署からのお知らせ
編集後記

さわおとNEWS



さわおとの森新体制

【転属】

高橋正藏	さわおとの森 事務長 兼 園長	→ 利府こども発達センター在籍 法人事務長
坂田莉奈	放課後等デイサービスくるみクラブ	→ あかいしの森 むーとん
佐藤千裕	生活介護わのみ	→ 塩竈市ひまわり園
(育休中) 上総麻利	放課後等デイサービスくるみクラブ	→ あかいしの森 むーとん
佐藤翔之	利府こども発達センター あのね	→ さわおとの森 生活介護わのみ

【昇格】

園 長 本田惣樹
統括主任 相澤順一

多機能サポートランドさわおとの森の新体制の紹介です。

昨年度とほぼ変わりませんが、各事業に主任を設置しています。サービス毎の問い合わせ対応やサービス調整を行います。

- ・放課後等デイサービスくるみクラブ 主任 伊藤達也
- ・生活介護わのみ 主任 渡部史起
- ・短期入所、居宅介護、行動援護事業 主任 佐藤祥

今年度はその上に統括主任を設けました。各事業の取りまとめを行い、必要に応じ、各事業の責任者としてその代理を務めます。

- ・統括主任 相澤順一

今年度より、園長が代わりました。

- ・園長 本田惣樹

昨年度副園長から、引き続き多機能サポートランドさわおとの森の責任者として、地域に求められる支援施設としての役割が担えるよう尽力します。

- ・他にも、総務 小野真澄
- ・給食・料理 菅原まき子（栄養士）
- ・技師 佐藤祥（再掲）（笑）

など、いろいろな役割を持ちながら令和3年度をスタートさせていきます。

さわおとの森も開設から15年目を迎えました。法人内の施設は、地域拠点センターを含め5事業所となり、より地域密着型の法人になろうとしています。

次のページにも載せますが、多機能サポートランドさわおとの森としては、新築・移転に向けた頑張りの年です。転入職員も含め、この新しい体制で臨んでいきます。ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

園長 本田惣樹

改めて

（各部署のメールアドレス）のご案内

- ・放課後等デイサービスくるみクラブ kurumi@sawaoto.jp
- ・生活介護わのみ wanomi@sawaoto.jp
- ・短期入所 sawa-short@sawaoto.jp
- ・居宅介護・行動援護 sawa-kyotaku@sawaoto.jp
- ・さわおとの森代表mail sawaoto@w8.dion.ne.jp

転入職員の紹介



佐藤翔之

平成30年度の採用から、利府こども発達センター、放課後等デイサービスあかねで2年間、学童のこども達と一緒に“学び”と“遊び”を共に重ねてきました。

児から者への変化もあり、正直少々戸惑いはありますが、4月からは（自称）持ち前の明るさで、生活介護のご利用者さんに全力で関わっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

-DATA-

山羊座、AB型

1997.1.5生まれ、24歳

特技：水泳、釣り（水泳は昔から、釣りは最近先輩からの無茶な誘導で、ハマる）

休みの日は：カラオケ、プール※コロナ禍で今は自粛中

実は、ポケモン好き、ポケモンgo、ケッキング
cp3260、相棒はリングマ

さわおとの森の新築・移転



【新さわおとの森建物イメージ】

きっかけは、令和元年10月12日に宮城県を直撃した台風19号でした。戦後最強クラスと言われたその台風は、崩れないと楽観していた裏山傾斜地の表層を崩し、現在もなお、ご利用されている方々や関係機関、実際に働く職員には、大きな不安とご迷惑をおかけしている状況が続いております。

二つの選択肢がありました、現在の地で万が一、土砂災害が起きた際に、その土砂を受け止める防護壁を設置し、運営を継続していく方法。そしてひとつは、新たな場所に新築・移転する方法。

令和元年10月から始まり、時には行政や外部地質専門家等を交え、10回以上に及ぶ検討の場を重ねました。ほんの少し前の2月中旬まで、現状の地に防護壁を作り、運営続行の方針を掲げていました。いざ取り掛かろうとした時に、突として新しい土地が見つかりました。費用面や立地面など、国からの施設整備事業費の補助と貸付制度などを駆使すればなんとか新築・移転できると判断し、3月5日付で国からの施設整備事業費助成金の交付内示と、3月16日の法人理事会での承認を持って、令和4年度に向け新築・移転に向けて準備させていただくことを、ご利用の方々、保護者、関係機関の皆様にご報告させていただきます。

まだ具体的な工期などは決まっていませんが、夏ごろより着工し、令和4年初めには竣工を迎える予定です。（完全な移転は令和4年3月または4月を予定しています）また、現状のさわおとの森の事業内容をそのまま移転しますが、一部の事業の定員を拡大する予定です。

- ・短期入所定員11名→12名
- ・生活介護定員18名→20名

移転準備に伴い、何かとご不便をおかけするかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、令和3年度中は現状の地で運営をしていきますが、裏山の傾斜が気になるところになります。地質の専門家からは、表層の一部が滑落しているものの、一度崩れた現状が地盤として一番落ち着いているおり、長い期間の大雨や想定外の大地震などがなければ早々に対応が必要なところではないと助言をいただいております。法人としましては、何か手を加えることはせず、日々の視認と、今後、避難訓練等の実施をすることで万が一に備えていきます。今後、梅雨や夏過ぎには台風の時期を迎えます。台風や大雨の接近など、あらかじめ土砂災害の危険性が高まることが予想される場合には、事前の送迎や利用自体を調整させていただく場合がありますが、こちらも併せてご協力いただきたいと思います。



【建設予定地】利府町沢乙字寺下20、21

園長 本田惣樹



（短期入所より）

・令和3年3月高等部卒業の方対象に、短期入所の再契約を行う予定です。すでにお済みの方もいらっしゃるかもしれませんが、こちらよりお声をかけさせていただきますので、その際は対応よろしくお願いします。

・また、台帳の更新を行う予定です。対象の方には、ご利用の際に「利用者調査票」を連絡袋等に入れさせていただく場合があります。次回利用日までご記入の上ご提出いただきたいと思います。

（生活介護わのみより）

・今年度は「おやなぎあと」の研修会を定期的に実施予定です。コロナ禍の影響もあるので、具体的な実施形態を検討中です。生活介護わのみのご利用者、保護者の立場に立って、漠然としている不安などあれば整理しながら、次のステップに移行できるよう取り組んでいきます、ご意見を聞かせてください、よろしくお願いします。

（居宅・行動援護より）

・現在、コロナ禍の影響もあり、行動援護による外出先に制限がある状況です。健康維持のための定期的な運動（散策等）は不要不急の外出に該当しないという判断を持って、公共交通機関や密が想定できる場所などを避けながら、しばらくの間、気分転換と健康維持のための散策等中心の支援となります、ご理解とご協力をお願いします。他にご意見等ありましたらお知らせください。

（総務より）

・令和3年1月の利用請求書より、様式が変更になりました。ご不明な点等ございましたらお気軽にご連絡ください。また、様式変更に伴い請求書と領収書が別々の用紙になっております。ご確認いただきますよう併せてお願いします。

【編集後記】

コロナ禍においては、宮城県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況が続いております。2月初旬には、多機能サポートランドさわおとの森でもコロナ対応に迫られた時期がありました。日々の検温・消毒や様々な感染予防対策など、毎日休まず取り組んでくれた職員一人ひとりには感謝の想いです。また、ご協力を頂いた保護者にも感謝申し上げます。より一層感染予防、感染拡大防止に努めていきたいと思えます。

3月、4月はいろいろな変化が訪れる時期です、新しいものへの期待、過ぎ去るものへの名残惜しさや不安、いろいろな局面を迎えるかもしれません。同時にご利用児・者には大きな変化が苦手な方もいます。この時期を事前の準備と丁寧な支援で乗り越えていきたいものです。

令和3年度の園だより「さわおとNEWS」の第1号でした。各部署より定期的にお便りを発行していますので、そんなに頻回には発行できませんが、新築・移転の情報など、進捗がございましたら第2号を発信します。ご期待ください。